

令和2年11月9日

随意契約結果及び契約の内容

工 事 の 名 称	東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（県道切り回し等）工事
工 事 概 要	<p>県道切り回し等工事：県道切り回し（L=約120m 幅員4.5m）、ヤード整備（面積 約1ha）、斜路（L=約60m）、仮設工事一式</p> <p>なお、本工事は「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞掘削等）工事・業務」を構成する下記の三つの工事及び一つの技術協力業務のうちの一つであり、下記①に該当する。</p> <p>①「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（県道切り回し等）工事」          ②「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（アクセス坑道等）工事」          ③「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞等）工事」          ④「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞掘削等）工事等にかかる技術協力業務」</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	<p>国立大学法人 東京大学</p> <p>総長 五神 真</p> <p>代理人 施設部長 齋藤 禎美</p> <p>東京都文京区本郷 7-3-1</p>
契 約 年 月 日	令和2年11月6日
契 約 業 者 名	鹿島建設 株式会社 中部支店
契 約 業 者 の 住 所	愛知県名古屋市中区新栄町二丁目14番地
契 約 金 額	158,136,000円（税込み）
予 定 価 格	162,250,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	<p>東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞掘削等）工事は、これまでに実績のない規模の地下空洞の掘削を行う工事であり、発注者によって最適な仕様を設定できない工事である。このため、技術提案・交渉方式を適用し、事業目的達成のために最も高い実績を持ち最も優れた技術提案を行った鹿島建設株式を優先交渉権者として選定し、当該提案を反映した設計を実施した。</p> <p>本工事はこの設計に基づき施工するものであり、当該設計にかかる技術協力者である鹿島建設株式会社が工事の実施が可能な唯一の者である。</p> <p>よって、東京大学政府調達協定実施規定第14条第1項第一号の規定に基づき随意契約を行う。</p>
施 工 場 所	岐阜県飛騨市神岡町和佐保地内（岐阜県道484号打保神岡停車場線の一部）
業 種 区 分	一般土木
工 事 期 間（自）	令和2年11月6日
工 事 期 間（至）	令和3年3月31日
備 考	

# 東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞掘削等）工事・業務に係る契約者の選定経緯について

## 1. 工事概要

### (1) 発注者

国立大学法人 東京大学

### (2) 工事名

東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（県道切り回し等）工事

なお、本工事は「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞掘削等）工事・業務」を構成する下記の三つの工事及び一つの技術協力業務のうちの一つであり、下記①に該当する。

①「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（県道切り回し等）工事」

②「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（アクセス坑道等）工事」

③「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞等）工事」

④「東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞掘削等）工事等にかかる技術協力業務」

### (3) 工事場所

岐阜県飛騨市神岡町和佐保地内（岐阜県道 484 号打保神岡停車場線の一部）

### (4) 工事内容

県道切り回し（L=約 120m 幅員 4.5m）、ヤード整備（面積 約 1ha）、斜路（L=約 60m）、仮設工事一式

### (5) 工期

契約締結日の翌日から令和 3 年 3 月 3 1 日

## 2. 経緯

### (1) 契約者決定の流れ

公募型プロポーザル方式等に係る契約手続き開始告示

↓

申請書及び実績審査資料の提出

↓

技術提案書の提出

↓

優先交渉権者の決定

↓

技術協力業務・価格等交渉

↓

見積合わせの執行・契約者の決定

(2) 契約者決定までの主な経緯

東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（県道切り回し等）工事請負契約者決定までの主な経緯は表－1 のとおりである

表－1 契約者決定までの主な経緯

日付	内容
令和2年3月24日	技術提案等審査委員会（第一回）
令和2年4月13日	公示
令和2年4月14日 ～令和2年5月1日	競争参加資格確認申請書及び配置技術者の資格・工事経験資料の提出期間
令和2年5月11日	競争参加資格審査委員会（参加申請のあった4社全てを資格有り判定）
令和2年5月13日	競争参加資格確認通知書の発送
令和2年7月6日	技術提案書の提出期限
令和2年7月27日	プレゼンテーション及びヒアリング 技術提案等審査委員会（第二回）
令和2年8月7日	優先交渉権者選定通知
令和2年9月7日	基本協定締結、東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞掘削等）工事等にかかる技術協力業務委託契約、設計協力協定締結
令和2年9月28日 ～令和2年10月6日	価格等交渉（4回）
令和2年10月22日	技術提案等審査委員会（第三回）
令和2年10月23日	特定通知
令和2年10月28日	見積合せ
令和2年10月28日	非特定通知
令和2年11月6日	東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（県道切り回し等）工事請負契約締結

(3) 工事実施者の選定方式

本工事は、これまでに実績のない規模の地下空洞の掘削を行う工事であり、発注者によって最適な仕様を設定できない工事であるため、設計段階から施工者独自のノウハウを取り入れる発注方式(技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ))を採用することとした。本方式は、技術提案に基づき選定された優先交渉権者と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させ、日標工期、工事額を算定した上で、価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に施工の契約を締結するものである。

(4) 工事実施者の選定体制

技術提案等の審査・評価は、中立かつ公正な審査・評価の確保を図るため、学識経験者等で構成する「技術提案等審査委員会」（以下、「審査委員会」という。）を設置して行った。審査委員会は、公示前段階、技術審査段階、価格等の交渉段階の3段階において審議を行った。なお、審査委員会は非公開とし、審査委員名は、東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（地下空洞等）工事請負契約締結後に公表する。

### 3. 競争参加資格確認等

#### （1）競争参加資格確認

競争参加資格確認は、競争参加者としての適正な資格と必要な実績を有するかを審査するものである。

#### （2）審査結果

令和2年5月1日までに4者の応募があった。4者から提出された競争参加資格確認申請書について、発注者で設置する競争参加資格審査委員会において資格審査を行った結果、いずれの者も競争参加資格を満たしていた。競争参加資格を有する4者に対し令和2年5月13日付で技術提案書の提出要請を通知した。

### 4. 実績審査

#### （1）審査結果の概要

審査にあたっての評価基準及び配点は表-2のとおりである。

表-2 評価基準及び配点

分類	評価項目	評価内容	評価基準	配点
企業の能力等	工事实績	過去30年間に完成した工事の施工実績規模1件目 ※JVの場合は代表者の実績とする	元請けとして引き渡しを完了した ①地下空洞（内空幅30m以上）の工事：10点 ②地下空洞（内空幅25～30m）の工事：7.5点 ③地下空洞（内空幅20～25m）の工事：5点 ④地下空洞（内空幅15～20m）の工事：2.5点	10
		過去30年間に完成した工事の施工実績規模2件目 ※JVの場合は代表者の実績とする	元請けとして引き渡しを完了した ①地下空洞（内空幅30m以上）の工事：10点 ②地下空洞（内空幅25～30m）の工事：7.5点 ③地下空洞（内空幅20～25m）の工事：5点 ④地下空洞（内空幅15～20m）の工事：2.5点	10

	ワーク・ライフ・バランス等の推進	ワーク・ライフ・バランス等の取組に関する認定状況	下記のいずれかに該当あり：3点 該当なし：0点 ①女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定（えるぼし認定企業）又は一般事業主行動計画策定済（常時雇用する労働者の数が300人以下のものに限る） ②次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定（くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業） ③青少年の雇用の促進等に関する法律（若者雇用促進法）に基づく認定（ユースエール認定）	3
	技術協力業務担当者（管理技術者）の工事实績	過去30ヵ年間に完成した工事の内、申請された1件の工事实績	監理技術者として従事した工事 ①地下空洞（内空幅30m以上）の工事：12点 ②地下空洞（内空幅25～30m）の工事：9点 ③地下空洞（内空幅20～25m）の工事：6点 ④地下空洞（内空幅15～20m）の工事：3点 ※担当技術者として従事した場合は、それぞれ配点は1/2となる ※JVの代表以外の構成員としての実績の場合は、それぞれ配点は1/2となる	12
技術者の能力等	アクセス坑道等の施工業務担当者（監理技術者）の工事实績	過去30ヵ年間に完成した工事の内、申請された1件の工事实績	①トンネル（内空幅10m以上かつ施工延長が1,000m以上）の工事において、監理技術者として従事：5点 ②トンネル（内空幅10m以上かつ施工延長が1,000m以上）の工事において、担当技術者として従事：2.5点 ※JVの代表以外の構成員としての実績の場合は、それぞれ配点は1/2となる	5
	地下空洞掘削等の施工業務担当者（監理技術者）の工事实績	過去30ヵ年間に完成した工事の内、申請された1件の工事实績	監理技術者として従事した工事 ①地下空洞（内空幅30m以上）の工事：12点 ②地下空洞（内空幅25～30m）の工事：9点 ③地下空洞（内空幅20～25m）の工事：6点 ④地下空洞（内空幅15～20m）の工事：3点 ※担当技術者として従事した場合は、それぞれ配点は1/2となる ※JVの代表以外の構成員としての実績の場合は、それぞれ配点は1/2となる	12
合計				52

## (2) 審査結果

審査結果は表-4のとおりである。

## 5. 技術提案審査

(1) 技術提案審査の概要

技術提案審査にあたり、以下の3提案を求めた。

- 1) 技術協力及び施工業務の実施に関する提案
- 2) 県道切り回し等、アクセス坑道及び地下空洞掘削等の目標工期、目標コスト及び安全性確保に関する提案
- 3) その他の提案

技術提案書は、4者すべてから提出があった。4者に対して実績及び技術提案を評価し、技術協力業務及び価格交渉を行う優先交渉権者1者及び次順位以下の交渉権者を決定した。技術提案の評価は、各者45分のプレゼンテーション及びヒアリングを令和2年7月27日に実施し技術提案内容の確認を行ったうえで、上述の提案項目に関する提案内容を審査することで行った。

なお、公示後、技術提案書等の作成に関する質問期間(令和2年4月14日~令和2年5月21日)に、106件の質問を受領・回答している。

(2) 審査結果

審査にあたっての評価基準及び配点は表-3、審査結果は表-4のとおりである。

表-3 評価基準及び配点

分類	評価項目	評価内容	評価基準	配点
技術提案	1) 技術協力及び施工業務の実施に関する提案	①理解度	業務目的、現地条件、与条件の内容理解度について、以下である場合に優位に評価する。 ・業務目的、現地条件、与条件に対して、適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するに当たって理解度が高い場合	5
		②実施手順	業務実施手順を示す実施フローについて、以下である場合に優位に評価する。 ・実施手順の妥当性及び手順上の具体的な工夫がある場合 ・与条件に対して、主要ポイントの抽出に対する着眼点が適切である場合	5
		③実施体制	業務実施体制について、以下である場合に優位に評価する。 ・本業務の内容規模に対して十分(具体的)な実施体制が確保されている場合 ・与条件に対して、主要ポイントの抽出に対する着眼点が適切である場合	5

2) 県道切り回し等、アクセス坑道及び地下空洞掘削等の目標工期、目標コスト及び安全性確保に関する提案	①アクセス坑道・地下空洞の地質条件を踏まえた施工手順・工程により効率的な総合施工計画に関する提案	目標工期・目標コスト・安全性確保の実現に資する提案として、下記である場合に優位に評価する。 ・提案根拠に裏付けがあるなど具体的かつ実現性、有効な提案が認められる場合 ・実施する上で具体的視点や強い取り組み姿勢がある場合	30
	②過去に類のない規模の地下空洞掘削のドーム部の施工に対する安全性確保及び長期安定性で想定されるリスク及びその対処方法に関する提案		30
	③情報化施工に関する提案		20
	④設計時・施工時の調査計画に関する提案		20
3) その他の提案	①アクセス坑道、地下空洞掘削等の維持管理に関する提案	提案内容について、以下である場合に優位に評価する。 ・課題、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、実施する上で具体的視点や強い取り組み姿勢がある場合 ・具体的な対策や手法・体制について有効かつ適切である場合 ・提案内容を裏付ける類似実績などの明示等の裏付けがある場合	5
	②地域（住民・企業）連携の醸成やその他有益な提案		5
合計			125

表—4 審査結果

提出者名	鹿島建設株式会社	清水建設株式会社	株式会社大林組	株式会社安藤・間
<b>実績審査 【合計】</b>	<b>【40】</b>	<b>【30】</b>	<b>【29.5】</b>	<b>【27】</b>
企業の能力等（小計）	(23)	(13)	(12.5)	(13)
工事实績（1件目）	10	5	5	5
工事实績（2件目）	10	5	7.5	5
ワーク・ライフ・バランス等の推進	3	3	0	3
技術者の能力等（小計）	(17)	(17)	(17)	(14)
技術協力業務担当者（管理技術者）の工事实績	6	6	6	3
アクセス坑道等の施工業務担当者（監理技術者）の工事实績	5	5	5	5

地下空洞掘削等の施工業務担当者（監理技術者）の工事実績	6	6	6	6
<b>技術審査 【合計】</b>	<b>【112.5】</b>	<b>【120】</b>	<b>【103】</b>	<b>【100】</b>
1) 技術協力及び施工業務の実施に関する提案				
①理解度	5	5	5	5
②実施手順	5	5	3	5
③実施体制	5	5	5	5
2) 県道切り回し等、アクセス坑道及び地下空洞掘削等の目標工期、目標コスト及び安全性確保に関する提案				
①アクセス坑道・地下空洞の地質条件を踏まえた施工手順・工程により効率的な総合施工計画に関する提案	22.5	30	22.5	22.5
②過去に類のない規模の地下空洞掘削のドーム部の施工に対する安全性確保及び長期安定性で想定されるリスク及びその対処方法に関する提案	30	30	22.5	22.5
③情報化施工に関する提案	15	20	20	15
④設計時・施工時の調査計画に関する提案	20	15	15	15
3) その他の提案				
①アクセス坑道、地下空洞掘削等の維持管理に関する提案	5	5	5	5
②地域（住民・企業）連携の醸成やその他有益な提案	5	5	5	5
<b>合計評価点</b>	<b>152.5</b>	<b>150</b>	<b>132.5</b>	<b>127</b>
<b>特定の有無</b>	<b>特定</b>	<b>次点</b>	<b>3位</b>	<b>4位</b>

## 6. 東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（県道切り回し等）工事に係る価格等交渉

### （1）実施方法

発注者及び優先交渉権者で技術協力業務の契約を締結するに当たり、設計業務及び技術協力業務完了後の三つの工事の契約に向けた価格等の交渉等に関する基本協定を令和2年9月7日に締結した。

### （2）経過

基本協定書に基づき、3回の合同打合せ、4回の価格等交渉を実施した。主な経過は以下の通りである。

【第1回】令和2年9月9日



- ・着工時期、工期の確認
- ・11月着工を目指し、技術協力業務及び価格等の交渉を進めることを確認
- ・技術協力業務にて提案が可能な範囲の確認
- ・仮設計画（排水処理プラント）の確認
- ・技術協力の提案内容（下段ヤードの排水の勾配・仮設栈橋の仕様・補強土壁の範囲・坑口前排水溝の取扱）の確認

【第2回】令和2年9月11日

- ・仮設計画（橋桁の運搬方法）の確認
- ・技術協力の提案内容（仮設栈橋のメンテナンス方法の提案）の確認

【第3回】令和2年9月18日

- ・見積用図面の提示
- ・特記仕様書、現場説明書及び工事費積算に関する見積条件の確認

【第4回】令和2年9月28日

- ・工事費の確認①
- ・積雪のリスク分担の確認

【第5回】令和2年10月1日

- ・工事費の確認②
- ・発生土の処分場の変更
- ・工事費積算に関する見積条件の確認

【第6回】令和2年10月5日

- ・工事費の確認③
- ・仮囲いの変更についてのリスク分担の確認
- ・特記仕様書、現場説明書及び工事費積算に関する見積条件の確認

【第7回】令和2年10月6日

- ・全体工程、工事費の確認④
- ・特記仕様書、現場説明書及び工事費積算に関する見積条件の確認、リスク分担の確認

上記4回の価格等交渉を踏まえ、発注者において両優先交渉権者の価格の妥当性を確認したことから、令和2年10月22日、第3回審査委員会に価格等交渉結果について報告し、価格交渉結果及び交渉成立の妥当性が確認された。

### （3）価格の妥当性の検証について

優先交渉権者から提出された工種毎における見積額の妥当性の検証については、以下のとおり行い、見積り条件やヒアリング等により確認した。

①歩掛については、原則、標準歩掛を使用し、妥当性を確認した。

②設計単価(労務単価、資材単価、機械経費)については、原則、国土交通省の標準単価及び市場単価を使用し、市場性のない資材単価及び機械経費については3社見積りを徴収し妥当性を確認した。

また、総価において、当初発注者が公告時に設定した参考額と優先交渉権者の見積額について著

しく乖離がないことを確認した。

(参考額) 約 1. 6 億円 (消費税込み及び地方消費税を含む)

(見積額) 約 1. 5 8 億円 (消費税込み及び地方消費税を含む)

#### (4) その他

価格等交渉の過程で決定した下記の施工条件等については、特記仕様書、現場説明書及び図面に記載し契約に反映させた。

- 下段ヤードの排水の勾配・仮設栈橋の仕様・補強土壁の範囲・坑口前排水溝の取扱・発生土の処分場

#### (5) 見積合せ

実施日時 令和 2 年 10 月 28 日

### 7、契約相手方の決定

- (1) 工事名 東京大学 (岐阜県神岡) ハイパーカミオカンデ (県道切り回し等) 工事
- (2) 契約者 鹿島建設 株式会社
- (3) 工事場所 岐阜県飛騨市神岡町和佐保地内 (岐阜県道 484 号打保神岡停車場線の一部)
- (4) 工事請負契約締結日 令和 2 年 1 月 6 日
- (5) 契約金額 予定価格 1 6 2, 2 5 0, 0 0 0 円(消費税及び地方消費税を含む)  
契約金額 1 5 8, 1 3 6, 0 0 0 円(消費税及び地方消費税を含む)

### 8、技術提案・交渉方式に係る審査委員会の経緯

本工事の手続きにあたっては、中立かつ公正な審査を行うため、学識経験者等で構成する審査委員会を設置し、全 3 回の意見聴取を行った。

各委員会の開催日及び意見聴取事項等は以下のとおり。

#### 【第 1 回審査委員会 公示前】

- 1) 開催日:令和 2 年 3 月 24 日 (火)
- 2) 意見聴取事項
  - ①技術提案・交渉方式の適用の可否について
  - ②契約手続きの流れについて
  - ③技術提案項目・評価基準について
- 3) 主な意見
  - ・技術提案・交渉方式の適用理由について
  - ・技術審査の評価内容について

#### 【第 2 回審査委員会 技術審査段階】

- 1) 開催日:令和 2 年 7 月 27 日 (月)

2) 意見聴取事項

①審査結果について

②価格交渉の手順について

3) 主な意見

・個別評価項目について

【第3回審査委員会 東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ（県道切り回し等）工事に係る価格等の交渉段階】

1) 開催日:令和2年10月22日(木)

2) 意見聴取事項

①価格等の交渉経緯について

②価格等の交渉の合意内容について

③予定価格の算定方法について

④公表資料について

3) 主な意見

・技術協力業務について

・予定価格の妥当性について

以上